

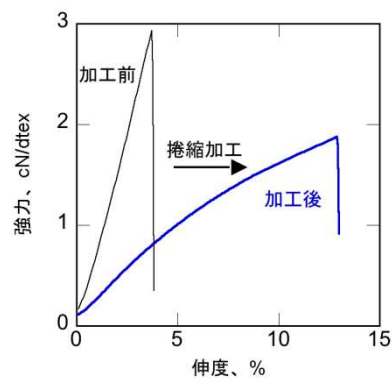
山形県工業技術センターシーズ集（繊維分野）

混紡糸（^{あおそ}青苧／^{きびそ}きびそ）の作製技術

山形県産の苧麻（^{ちよま}青苧）に絹（^{きびそ}きびそ）を混合してカード及び紡績を行うことで、横編機でのニット編成可能な紡績糸を作製することが可能です。

通常、青苧は手紬糸を手織品に用いるが、改質して単繊維の捲縮性を向上させると、きびそと青苧と混合することで、リング紡績機で 24 番糸まで作製することが可能です。

24 番混紡糸は、7 ゲージ横編機 2 本取りで編成すると、セーターを試作できます。



青苧の捲縮加工と強伸度変



試作ニット製品化

青苧繊維はマーセル化による捲縮加工によって、弾性率が 5 分の 1 に低減できます (6.9 GPa)。

23.7 番混紡糸 (きびそ 70%/青苧 30%) の伸度は 6.1% であり、横編機での編成が可能です。